



赤井むつみ後援会便り第69号

笑顔あふれる温かい町に！

2025年 9月 発行



決算委員会終了！

一般会計 収入（歳入）175億7,349万円（昨年は、196億1,505万円）
支出（歳出）171億9,854万円（昨年は、191億9,505万円）
貯金（基金）153億4,541万円（昨年は、148億4,586万円）
借金（町債）124億2,652万円（昨年は、127億3,346万円）

2024年度は3億7,494万円の黒字決算となり、そのうち2億5千万円を貯金（基金繰入）し、9,526万3千円を2025年度に繰り越しました。収入は昨年度に比べると、定額減税や土地及び家屋の評価替え等により町税は減収、ふるさと応援寄付金も昨年の半分になったため、収入は減額となりました。支出では、公共施設の老朽化や物価高騰の影響により経常経費が増加し、厳しい財政運営となりましたが、町長初め、職員皆様の努力により黒字決算となりました。

毎年、黒字決算ですが、更なる人口減少による働き手不足、後継者不足、温暖化による海水温上昇で海の魚はほとんど獲れず、最近ではホタテ養殖も危機的状況にあります。

私たちの日常生活を見ると年金の減額、最低賃金が上がったとはいえ、それ以上の物価高騰、さらにコメ不足と価格の高騰など、日々の生活に不安を感じる状況となっています。八雲町は、岩村町長の商才により、貯金も153億円と財政的には豊かな町になりました。しかし、大災害が起きたり、1次産業が危機的な状況になると、あっという間に貯金は無くなってしまいます。限りある財源を有効に活用し、町民ひとり一人が笑顔で過ごせるよう、誰もが小さくても日々幸せを実感できるよう、みんなで知恵を出し合い、支え合って行きましょう！



補正予算の主なもの

2025年度 一般会計補正予算（第3号・第4号）より

★障がい福祉費：84万7千円 障がい者福祉システム改修業務委託料

★社会福祉費：1,343万1千円 多機能型交流施設新築工事実施設計業務委託料

★じん芥処理費：2,443万9千円 リサイクルセンター火災による補正

242万4千円 建物修繕料・機械器具等修繕料

263万5千円 不燃ごみ運搬料（森町まで）・高所窓ガラス清掃手数料・火災報知器検査等手数料

1,938万円 不燃ごみ処理業務委託料（森町へ）・火災復旧工事実施設計業務委託料

一般質問

問1 『津波警報を通して見えた現状と課題は？』

カムチャッカ半島の地震による津波警報が日本にも出ました。浸水区域の多くの皆さまが避難されましたが、各避難所とそれ以外の区域、そして、災害対策本部において見えた現状と課題を教えてください。

答 『自助・共助の強化を！』

今回は、避難所として指定していない施設に避難、避難の必要がない地域からの避難、要援護者の避難支援、国道・道道及び高速道路の交通規制、商店や事業者の閉店などから飲み物や食料の調達に支障が出た。また、自動車による避難者が多く、駐車場の確保や避難誘導看板の必要性を感じた。今回は平日の日中の津波警報だったが、職員の安全確保に配慮しながら、限られた人員で災害対応に当たることの厳しさが明らかになった。これが休日や夜中なら職員の参集も難しく、避難所の開設すらままならない状況に陥るのではと、改めて地震・津波災害の厳しさを実感。町民皆さまには、自分自身と家族の命と安全を守る自助の意識、その上で近所の人達と支え合う共助の重要性を再認識してもらいたい。日頃から各家庭や職場、学校等で災害について話し合い、水や食料等の備えをしてもらいたい。落部地域にも大きい駐車場で避難できる場所は必要で、そういう所に消防署あっても良いと考え、今後十分協議、議論していく。



問2 『病院を維持するには？』

今、自治体病院の9割が赤字だという報道もありますが、八雲町の病院も例外ではありません。電気代や物価の高騰による影響、近隣町含む人口減少、内科医不足が大きく影響していると思います。しかし、今のままの国の方針では、地方がどんなに頑張っても自治体病院をこのまま維持することは、ほぼ不可能になっていくと思います。町長初め、病院スタッフの皆さまは、ずっと以前から医師や各スタッフの確保、患者輸送バス導入の検討、デジタル化など様々な努力をされていることは、みんなが理解しています。しかし、もう自治体の努力だけでは限界にきていると思います。町長は今までの取り組みを通して、10年後も20年後も頼られる病院でいるためには、どのような方法が必要だとお考えでしょうか？

答 『一番は交通と財政！』

地域の基幹病院としての機能を維持するためには、医師をはじめとする医療従事者の確保は重要。とりわけ常勤医師の確保が進まない中、診療維持を出張医に頼らざるを得ない状況であり、極めて厳しい経営環境にある。現在、一般会計からの多額な繰入金により何とか維持されてきたが、なお余りある巨額の損失を計上する経営体質に陥っている現状。この現状を国や関係団体に何度も訴えているが、なかなか理解してもらえない。常勤医師の確保には新幹線開業が一番だと思っていたが、2030年に新幹線が開業しなかったのは大打撃。財政については、ここ数年は20億円あると行けると思うが、診療報酬が変わったり医療自体の環境が良くならなければ、その後はわからない。本当に財政が厳しくなったら、町長の給与を半分にしても守る覚悟はあるが、赤井議員にもそうした覚悟はあるか？



初めての逆質問が嬉しく「もちろんあります！ゼロにしても守ります!!」と答えました！

決算委員会における主な質疑

【総括質疑】

Q. 2024 年度決算において、町長から見た成果と課題は？

A. 成果はなかなか出てこないが、先日報道があった道南の人口減少率の割合が、八雲は少なかった。これは雇用創出に力を入れた結果だと思う。また、ふるさと納税が 17 億円を超えたこと。今後、財政支出が増えるので、ふるさと納税の増額が必要。

課題は渡島の町村会長、全道の副会長を受けたため、企業訪問をする機会が少なくなり、減額になった。今後はもっとふるさと納税の在り方の検討が課題。

Q.新聞の取材に自己採点は 30 点と厳しい採点だったがその理由は？また、八雲町の今後についてどのように考えているか？

A. 自分に厳しく採点した。企業誘致をしたが、町の財政支出をしないほうが良かった。今後、サーモン、ウイスキー、ワインについても、町財政の支出がないようにやっていく。病院経営に関しては、医師確保がなかなかできなかったため 30 点。

八雲町の今後は、なんといっても新幹線の開業。2030 年に開業していたら、野球の 2 軍の誘致や、医師確保ができた。今後は省庁の分散という声もあるので、農水省や災害庁の誘致など、活用できる可能性はある。しかし、こうした誘致に関しては、町全体でやらなければならないので、そうした団体作りに積極的に取り組んで行く。民間人になっても、今後の八雲町のために積極的に協力していきたい。

Q. 地域おこし協力隊の募集事業の現状は？

A. 19 人を予定していたが、現在は 12 人が在籍。全国的に募集しているので、八雲町の魅力を十分に発揮した募集の仕方が大切。最近は専門性のある業種への動きがあるので、そうしたことにも対応。基本受け入れ先が決まってからの募集なので、必要な場合は担当課に声を上げていただき、協力隊が担う任務であれば募集につなげる。

Q. ウクライナ避難民のための住宅の利用状況と今後は？

A. 連携協定を結んでいる大学が 4 日間利用した。ウクライナ避難民が思ったより来なかったのも、今後の維持管理を考えると、最終的には売り払いを検討。売り払いが決まるまでの間は、利害関係がなければ、貸すことも可能。

Q. 商工振興事業費補助金、町内事業者経営安定補助金、中小企業等設備導入支援事業の合計 3,144 万 2 千円。持続可能な商工業、後継者育成を考えたらこれで大丈夫？

A. 地元商工業の雇用拡大、生産拡大を考えると、まだまだ足りない。今、地方創生 2.0 制度があり、民間でも使えることになっているので、そうしたものを活用しながら地元業者を支援する仕組みを考えて行く。また、ふるさと納税につながるような施設整備の支援にも力を入れたい。木蓮で若い人が自ら学び育っていくことを目標にしてきて、ペコレウが誕生したが、まだまだ足りないのも、もっと PR し、雇用が生まれるところに支援していきたい。

今回の決算も黒字という事で、特別委員会も大きな問題はなく無事終了しました。各議員からも質疑は出ましたが、岩村町長とのやり取りができるのはこれが最後という事で、私の質疑と岩村町長の答弁のみ、掲載させていただきました。12 年間「活気あふれる八雲町」を目指し、走り続けた岩村町長。毎回、その進め方にストップをかけてきた私ですが、結果的にサーモンもウイスキーもワインも進んでいます。町長は勇退されますが、これからも夢に向かってどんどん突き進む岩村町長に心から感謝と敬意を申し上げます。これからもくれぐれもご自愛下さいね！

今年も生涯学習フェスティバル

10月5日(日)

親子の自然体験学習(13:30~)

親子で町有林に入って、森林の成り立ちや木の育て方などを学び、大いに楽しみながら、少しでも地球環境の保全に役立てるといいなあと欲張りな願いを持っています。

10月25日(土)

9時 ~ 12時

公民館集合・解散

ジオパークツアーが行われます

加藤孝幸氏(地質専門家・八雲出身)他を講師に、上八雲方面で地球の面白さ、自然の偉大さを体験しましょう!

申込先: 八雲シンフォニー (62-4300)

11月15日(土)

『うまいもの自慢』in 八雲地域

熊石・落部・八雲のお母さんたちが、それぞれの地域で昔から愛されている郷土料理を作って、みんなでおいしくいただきます。合併10年の時から始まり、合併20年の今年は10回目となります。今年はどんなうまいものが食べられるかな?

本当にありがとうございました!

10月22日(水)

15時 ~ 16時

『みつろうラップ作り』

八雲シンフォニーで行います。参加費は300円です。申し込みが必要です!

10月25日(土)

はぴあ八雲でハロウィン!

みんなで変装して本町商店街を探検しましょう! *「Trick or treat!」*

詳しいことは、幼稚園・保育園・学校でチラシが配布されますので、お見逃しなく!

12月13日(土)

クリスマス会を予定しています! お楽しみに!



12月6日(土) 13時~15時

八雲町民センターで キッズパフォーマンスを行います。

子ども達が、歌やダンス、楽器演奏などいろいろな発表してくれます、是非、お越しください!

皆さまの応援をいただいて、未熟ながら4期16年何とか務めることができました。もちろん、まだまだ不十分なところはたくさんありますが、子育て支援提言やケアラー条例策定など、皆さまの『幸せ』につながる取り組みができたことは、仲間の皆さんに心から感謝しています。議会改革初め、不十分なことについては、今後も挑戦させていただけると大変嬉しいです! これからも応援よろしく願いいたします。 **感謝を込めて!**

赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126

FAX=62-3632 電話=080-5588-2090 (赤井)

赤井自宅 栄町56-12 (栄町3区) ☎ 63-2090 ホームページは「赤井むつみ」で検索!